

プロフィール



ウシ経膣採卵(卵子採取)

名前	的場 理子
所属部署	農研機構 畜産研究部門 (つくば)
職種	上級研究員
着任日	2012. 4. 1.
出身地	京都市
趣味	ライブ・コンサートに行くこと、 スポーツ観戦に行くこと、散歩

インタビュー

Q1 現在の仕事内容を教えてください。

国内の牛飼養頭数が減少し続け、受胎率の低下も問題であり、より子牛生産に寄与するような発生能の高い卵子や受精卵を生産する方法の検討を中心とした応用繁殖研究に取り組んでいます。

Q2 研究者になったきっかけは何ですか？

先輩方、恩師、現職での上司との出会いと導きです。就職試験で唯一採用してもらった前職（(独)家畜改良センター）で、直径約130 μ mの小さな受精卵が体重約30-40kgの子牛になることに感動し、腕のある畜産技術者（人工授精師、受精卵移植師）になろうとしていました。研究機関に勤めることになるとは想像していませんでした。ご縁に感謝しています。

Q3 今、気になっていることを教えてください。

最近始めた弦楽器の弦を小指でうまく押さえられ、良い音が出る日はくるのか。

Q4 学生のとときに気づけば良かったと思うことやメッセージ。

卒業してから英語に苦心しています。論文を読み書きするのも、海外の学会で発表するのも、議論するのも、はたまた海外で研究するのも英語です。学生の頃は英語を不勉強でしたので、もっと使える英語を習得しておくべきだったと思っています。

学生のとときや就職活動でも研究には全く興味がありませんでしたが、社会人になってからの出会いで興味が広がり、現在研究に携わるようになっていきます。いろんな年代の先輩方との出会いにより進路が変わってきました。人的ネットワークは貴重な財産です。若いときから積極的に外に出て人と交流することは大事なんだと思っています。